

# 成長可能性に関する説明資料

リファインバース株式会社  
(東証マザーズ：6531)



2016年7月

1. 会社概要
2. 当社グループ事業について
  - 当社グループ事業の概要
  - 再生樹脂製造販売事業
  - 産業廃棄物処理事業
3. 業界環境
4. 今後の成長戦略

# 1. 会社概要

## 2. 当社グループ事業について

- 当社グループ事業の概要
- 再生樹脂製造販売事業
- 産業廃棄物処理事業

## 3. 業界環境

## 4. 今後の成長戦略

会社名:リファインバース株式会社

資本金:3億円(2016年3月31日現在)

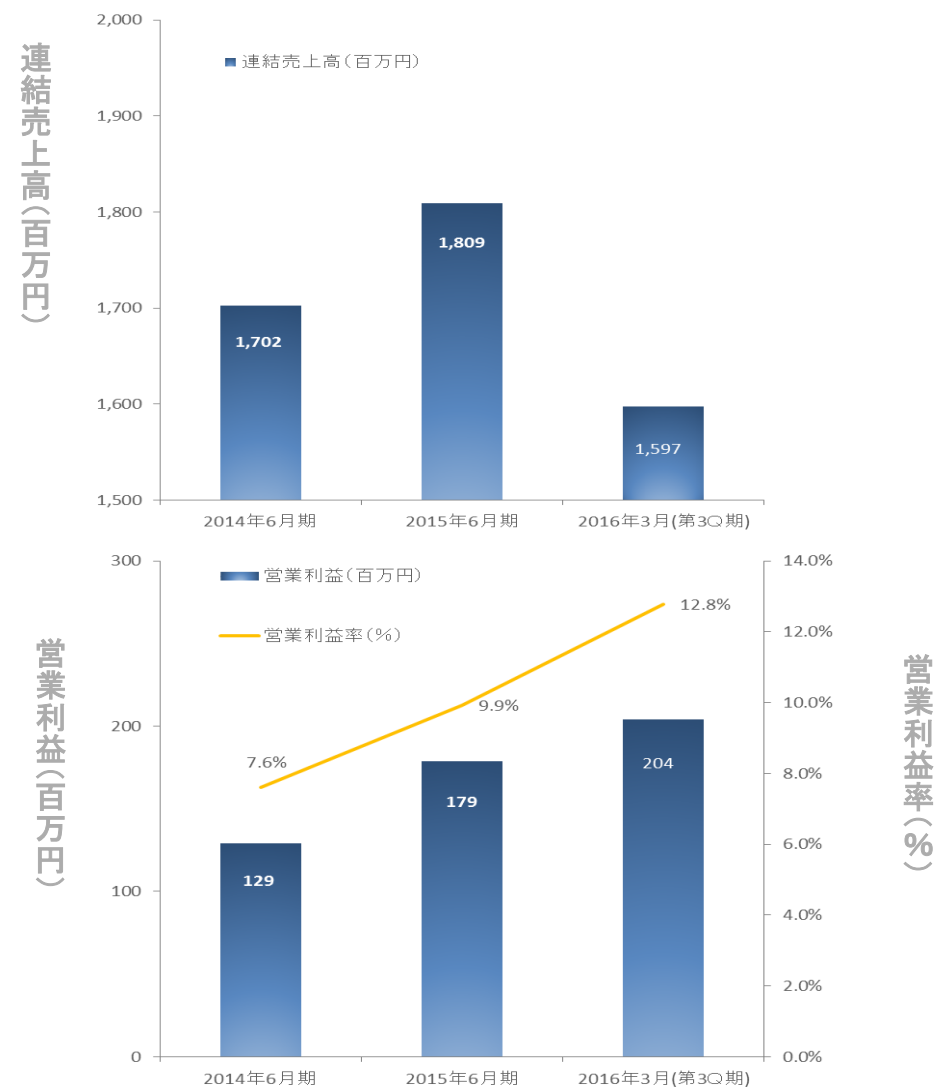
設立:2003年12月

所在地:(本社)  
東京都中央区日本橋人形町3-10-1  
(千葉工場)  
千葉県八千代市大和田新田672-4

従業員:118名  
(2016年5月31日現在 連結会社従業員数)

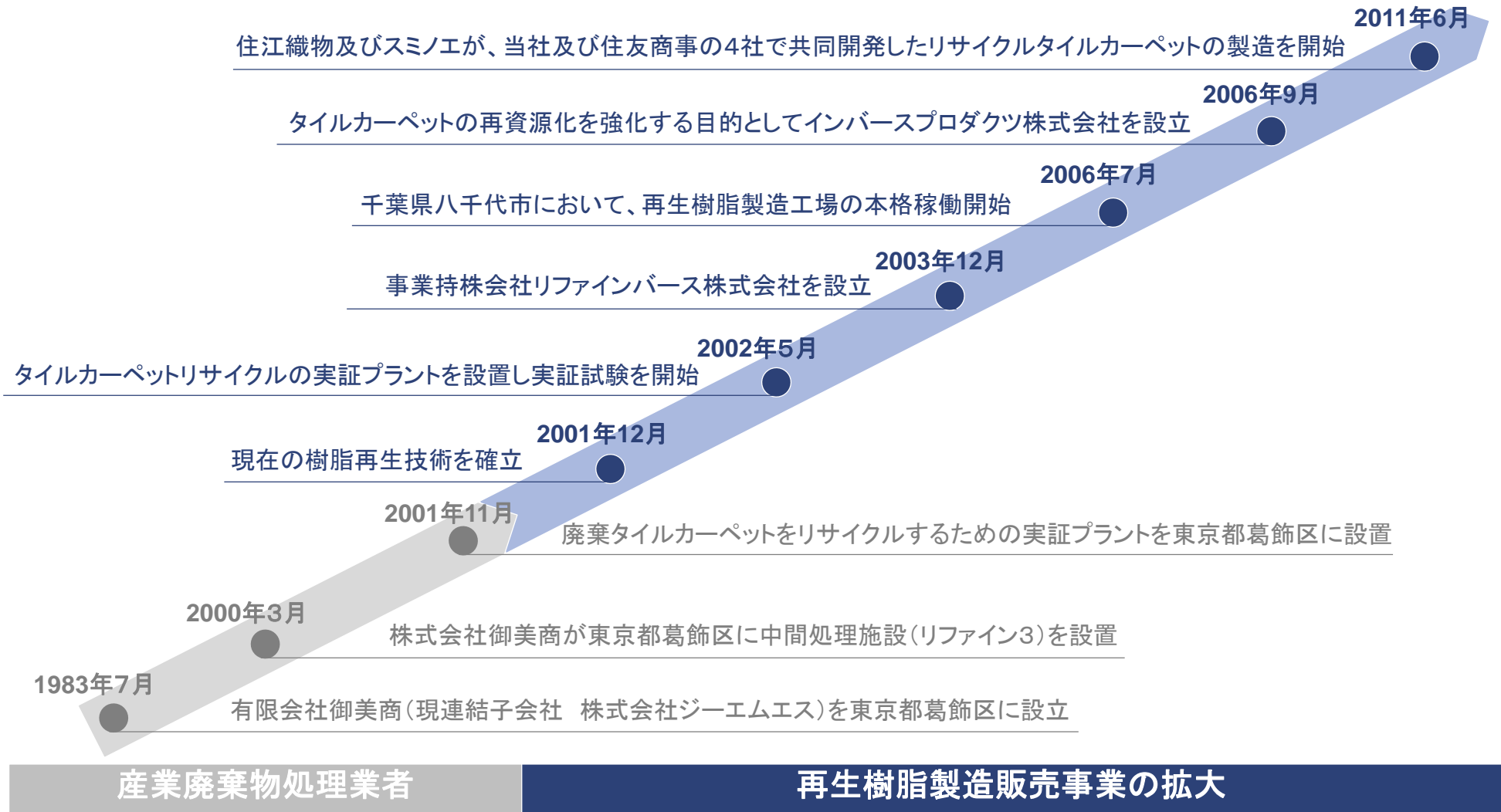
グループ企業:株式会社ジーエムエス  
インバースプロダクツ株式会社

## 《業績推移》(当社連結数値)



**これまでの製造過程とは異なる  
新たなマテリアルサイクルを形成し、  
社会の持続的発展に寄与することを目指します**

当社グループの祖業は株式会社ジーエムエスの設立(1983年7月)ですが、現在の樹脂再生技術の確立は2001年12月であり、当社の設立は2003年12月です。

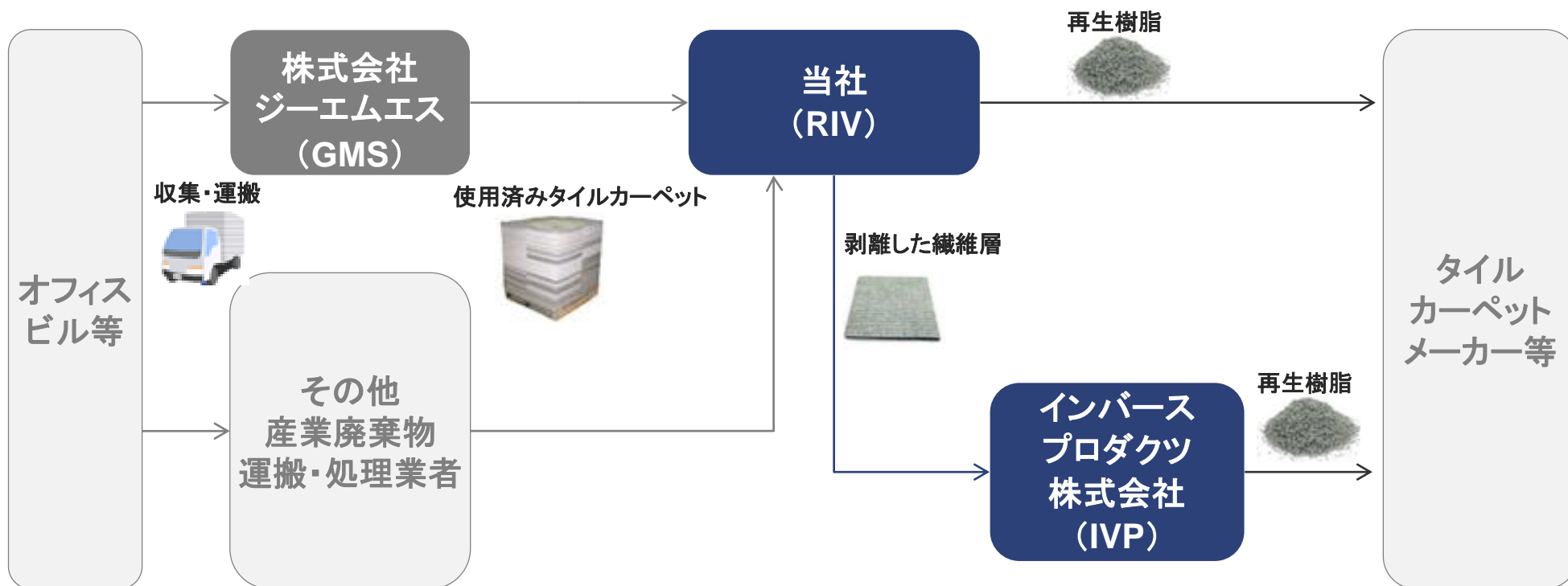


産業廃棄物処理業者

再生樹脂製造販売事業の拡大

1. 会社概要
2. 当社グループ事業について
  - 当社グループ事業の概要
  - 再生樹脂製造販売事業
  - 産業廃棄物処理事業
3. 業界環境
4. 今後の成長戦略

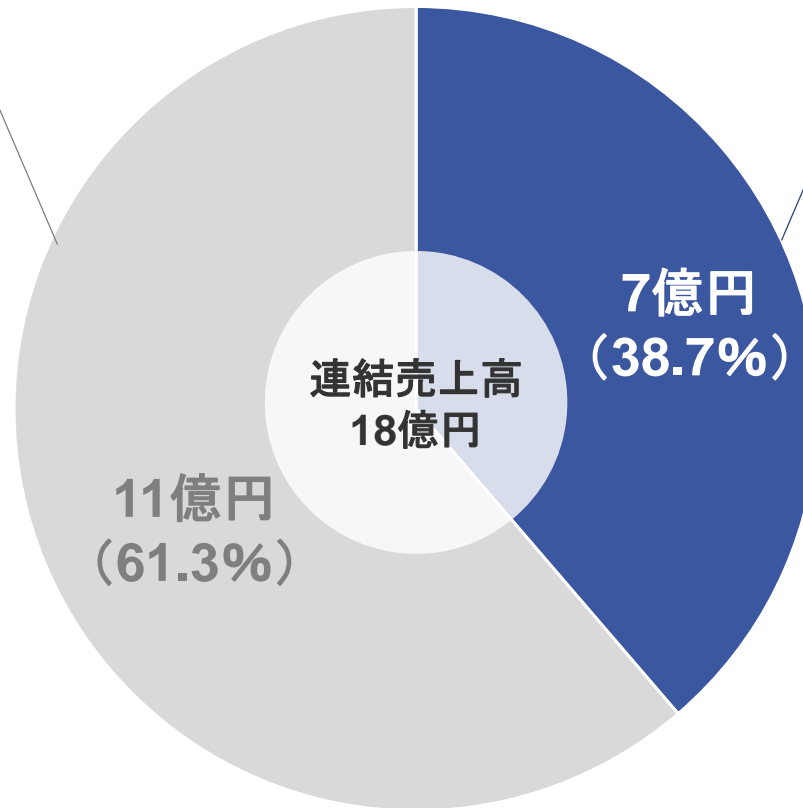
当社グループでは再生樹脂製造販売事業を当社及びインバースプロダクツ株式会社が  
行っており、産業廃棄物処理事業を株式会社ジーエムエスで行っております。





## 産業廃棄物処理事業

- 主に首都圏において排出される産業廃棄物を対象
- 主な業務は、「収集運搬」業務、「中間処理」業務(選別・破碎・圧縮等)、「再資源化」業務
- 担当会社:GMS



## 再生樹脂製造販売事業

- 使用済みタイルカーペットを基に、再生樹脂を製造・販売
- 再生樹脂は、インテリアメーカー等に販売され、再度タイルカーペットの原料として利用
- 担当会社:RIV・IVP

※上記の各セグメント売上高はセグメント間取引について相殺したものです。

## 1. 会社概要

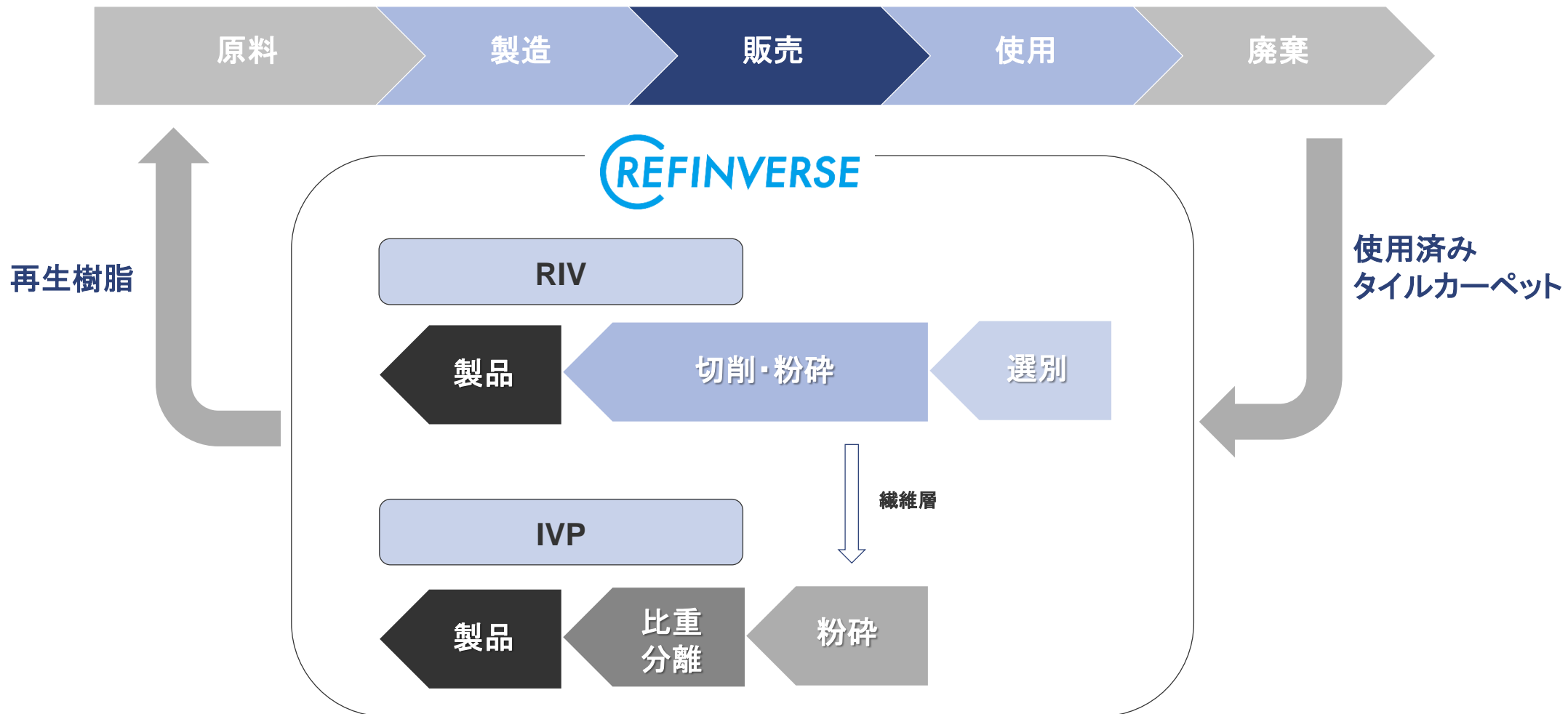
## 2. 当社グループ事業について

- 当社グループ事業の概要
- 再生樹脂製造販売事業
- 産業廃棄物処理事業

## 3. 業界環境

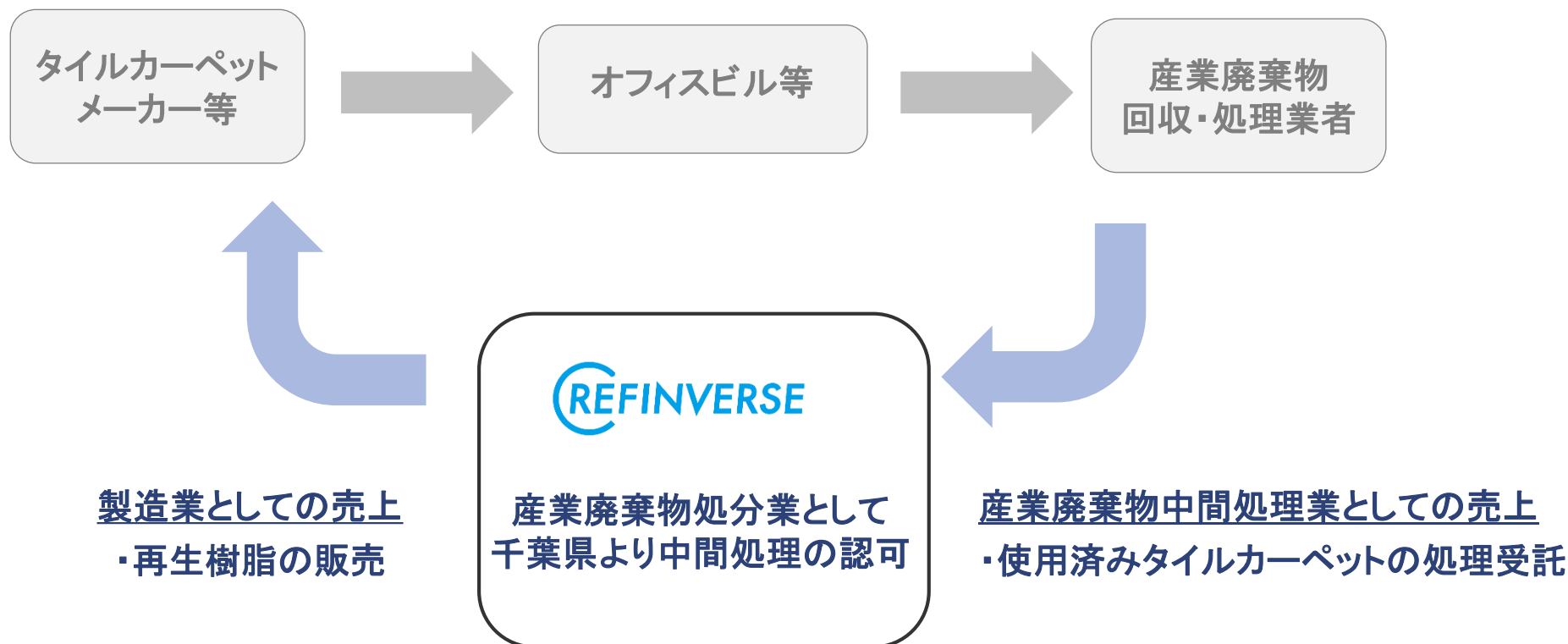
## 4. 今後の成長戦略

現在は使用済みタイルカーペットの再資源化に着目し、廃棄されたタイルカーペットから再度タイルカーペットの原料として利用できる合成樹脂製品の製造・販売を行っております。



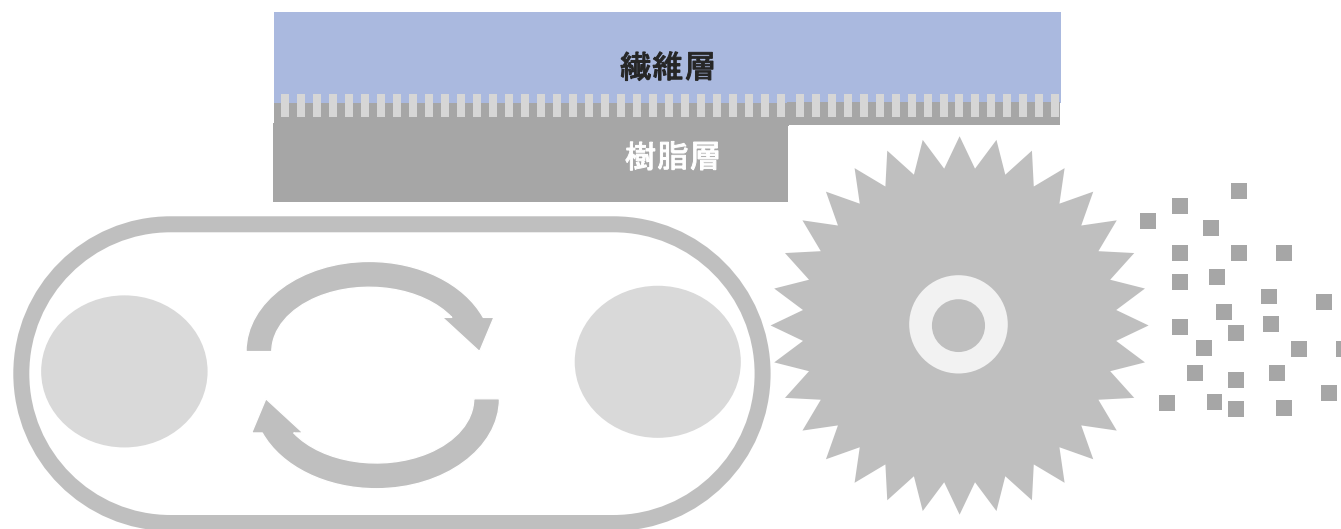
当事業は製造業としての売上に加えて、産業廃棄物の中間処理業としての収入を獲得しております。

## 再生樹脂製造販売事業の売上計上



当社独自の技術により、樹脂純度の高い再生樹脂製造を可能となっております

## 当社のリサイクル技術概要



### 製造工程の技術的特長

繊維部分が縫いこまれた使用済みタイルカーペットのうち、樹脂純度の高い裏面樹脂層のみを剥離・粉体化

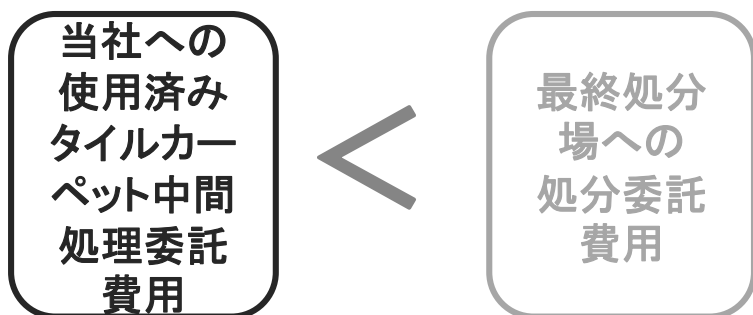
高純度の再生樹脂製造を実現

当社グループの再生樹脂製造販売事業は原材料回収・販売価格の2点から価格優位性を有していると認識しております。

## 使用済みタイルカーペット回収面での優位性

背景:最終処分場の処理容量の逼迫

産業廃棄物回収・処理事業者にとって

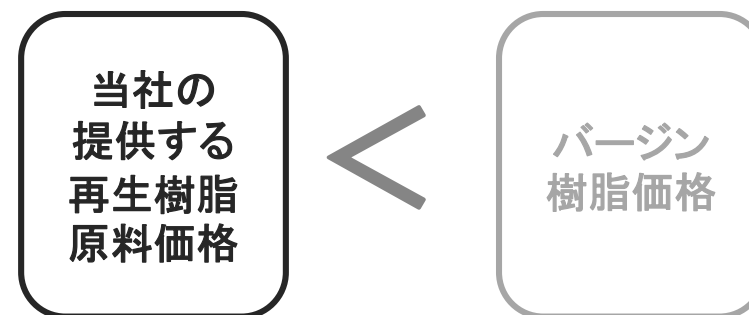


当社の使用済みタイルカーペット安定回収に寄与

## 販売価格面での優位性

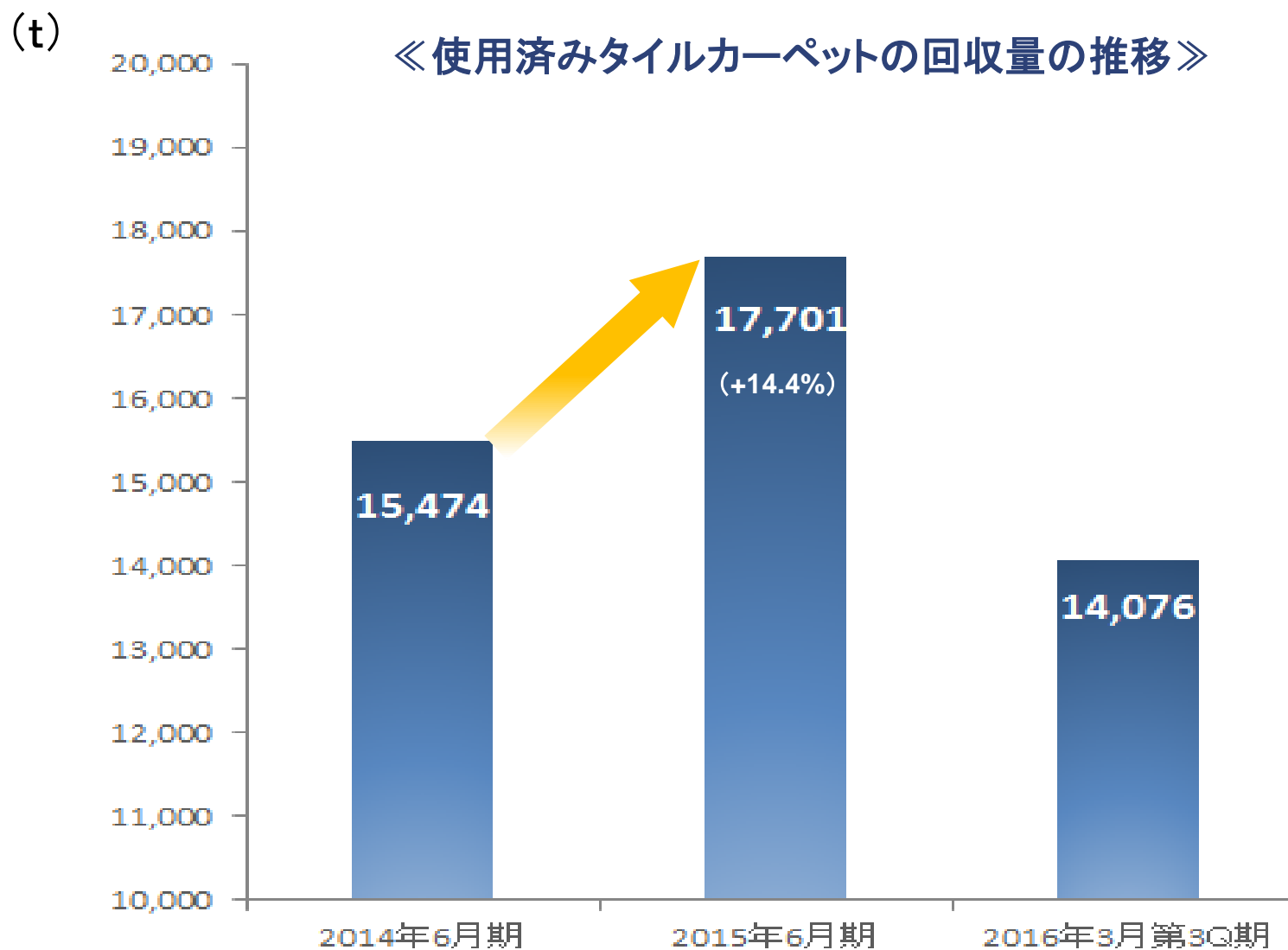
背景:バージン樹脂由来製品の価格

タイルカーペット製造メーカーにとって



当社製品の需要向上に寄与

使用済みタイルカーペットの回収量については、順調に推移しております。



一部商社経由での販売となっておりますが、タイルカーペットメーカーへ再生樹脂製品を供給しております。

### 当社再生樹脂製品を利用するメリット

- 石油・為替動向により変動するバージン樹脂価格に影響を受けずタイルカーペット原料として利用可能な再生樹脂を取得可能
- 現状においてバージン樹脂価格よりも安価で購入可能
- 当社再生樹脂を利用することで、グリーン購入法の特定調達品目、エコマーク商品としての認定を受けることが可能

### 当社再生樹脂製品の採用状況

- 直接の取引先としては、商社(住友商事)経由が多い(2015年6月期で連結売上高の18.8%を住友商事株式会社へ計上)
- 最終的には、住江織物、東リ、サンゲツ、川島織物セルコン等の主要なタイルカーペットメーカーの製品原料としての販売を実現  
(例)住江織物株式会社の販売するリサイクルタイルカーペット「ECOS(エコス)シリーズ」



タイルカーペットメーカーは、当社グループ製品を原料としてリサイクルタイルカーペットを製造することにより、グリーン購入法の特定調達品目、エコマーク要件の認定を得られます

## タイルカーペットに係る特定調達品目の判断基準

### 【判断の基準】

- 未利用繊維、リサイクル繊維、再生プラスチック及びその他の再生材料の合計重量が製品全体重量比で**25%以上**使用されていること。

### 【配慮事項】

- 製品使用後に回収及び再使用又は再生利用のためのシステムがあること。
- 製品の包装又は梱包は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。

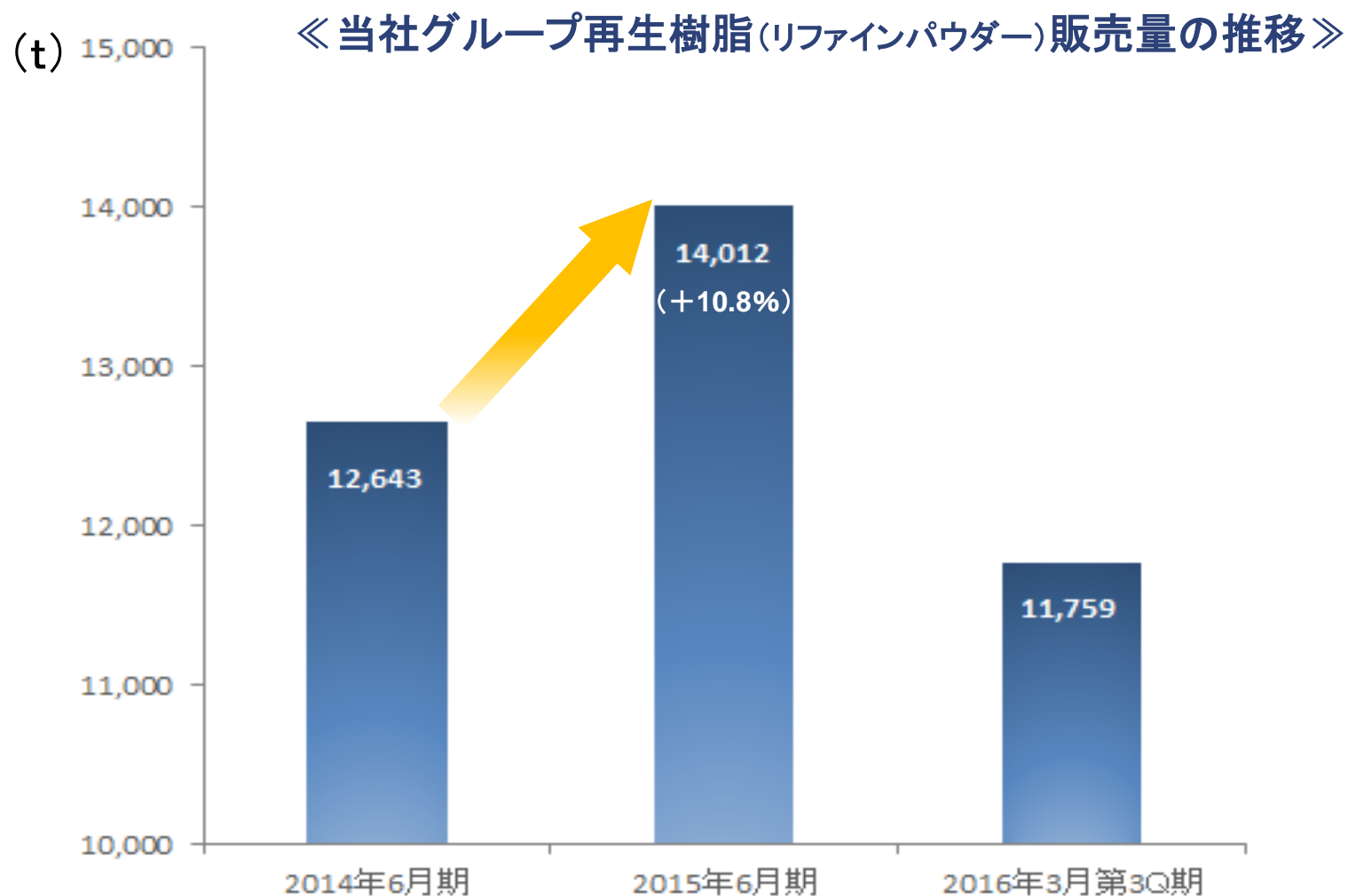
(出典)環境省「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」より抜粋

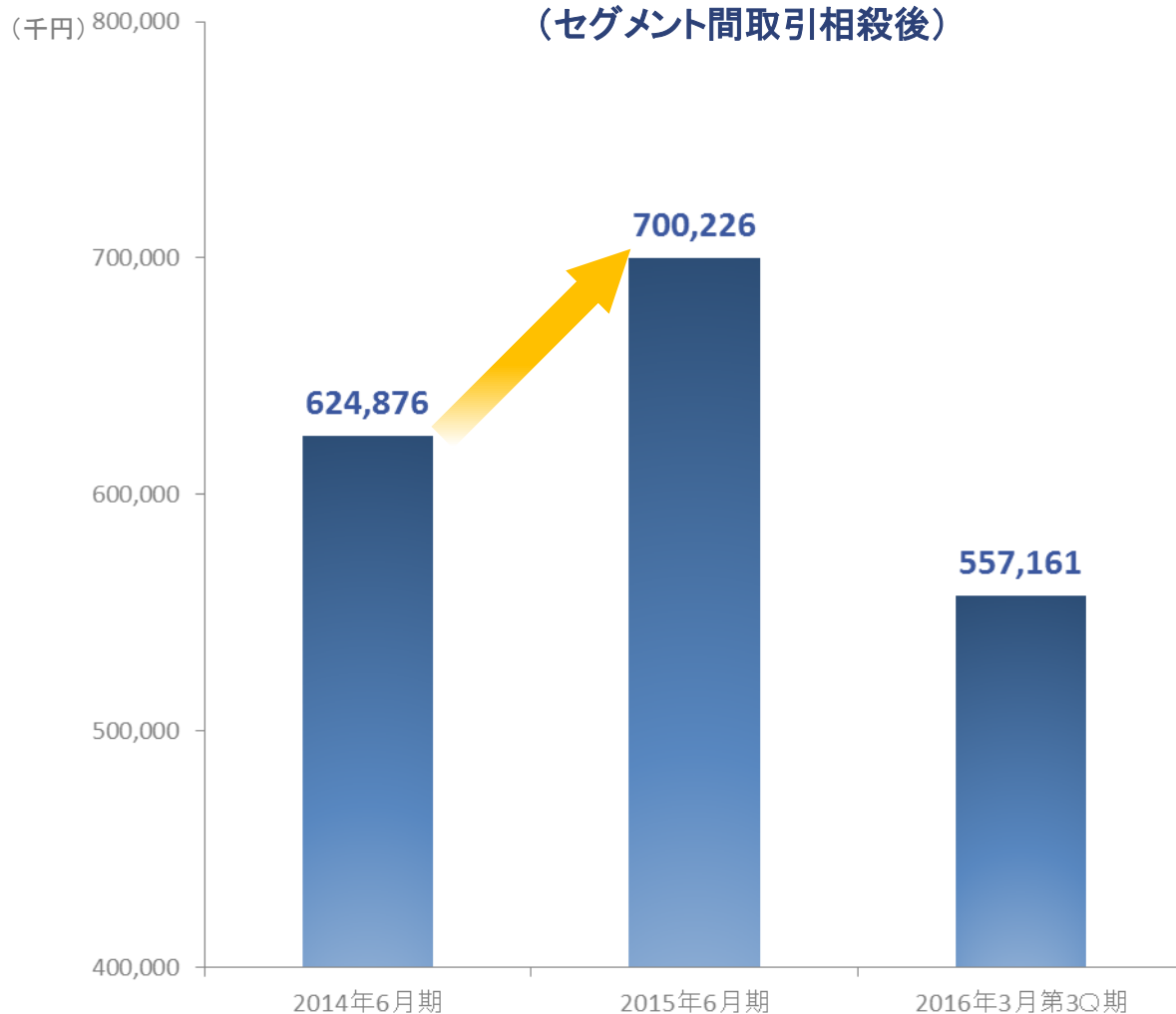
## タイルカーペットに係るエコマーク認定の主な要件(抜粋)

- 製品に使用する再生材料の配合率については、以下のaおよびbを満たすこと。
  - a. 使用済みタイルカーペット由来の再生材料が、製品全体質量比の**10%以上**使用されていること。
  - b. 再生材料が、製品全体質量比の**25%以上**使用されていること。
- 使用済み製品を回収し、再びタイルカーペットへリサイクルする体制および実績があること。回収対象の地域は、少なくとも主要な販売地域を網羅して

(出典)財団法人日本環境協会 エコマーク事務局「エコマーク商品類型No. 123『建築製品(内装工事関係用資材)Version2.13』認定基準書」より抜粋

以上の環境も相まって、当社グループの再生樹脂販売量は順調に拡大しております



《再生樹脂製造販売事業売上高》  
(セグメント間取引相殺後)

- 2015年6月期の再生樹脂製造販売事業の売上高は、現状回復時のタイルカーペットの張り替え件数の増加や、インテリア業界における環境対応製品市場の拡大により、順調に増加
- 2016年3月第3四半期累計期間においても、当該業界での需要増加から順調に推移

## 1. 会社概要

## 2. 当社グループ事業について

- 当社グループ事業の概要
- 再生樹脂製造販売事業
- 産業廃棄物処理事業

## 3. 業界環境

## 4. 今後の成長戦略

首都圏で排出される建築系廃棄物の収集運搬・中間処理等を行っております。

内装解体工事



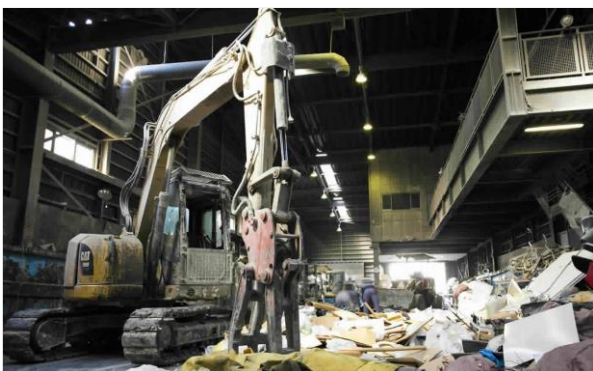
収集・運搬



搬入



分類・選別



破碎



最終処分/再生・再資源化



首都圏の東西に施設を持つことで、首都圏において機動的な対応が可能となっております。

## TACS3 東京港リサイクルセンター

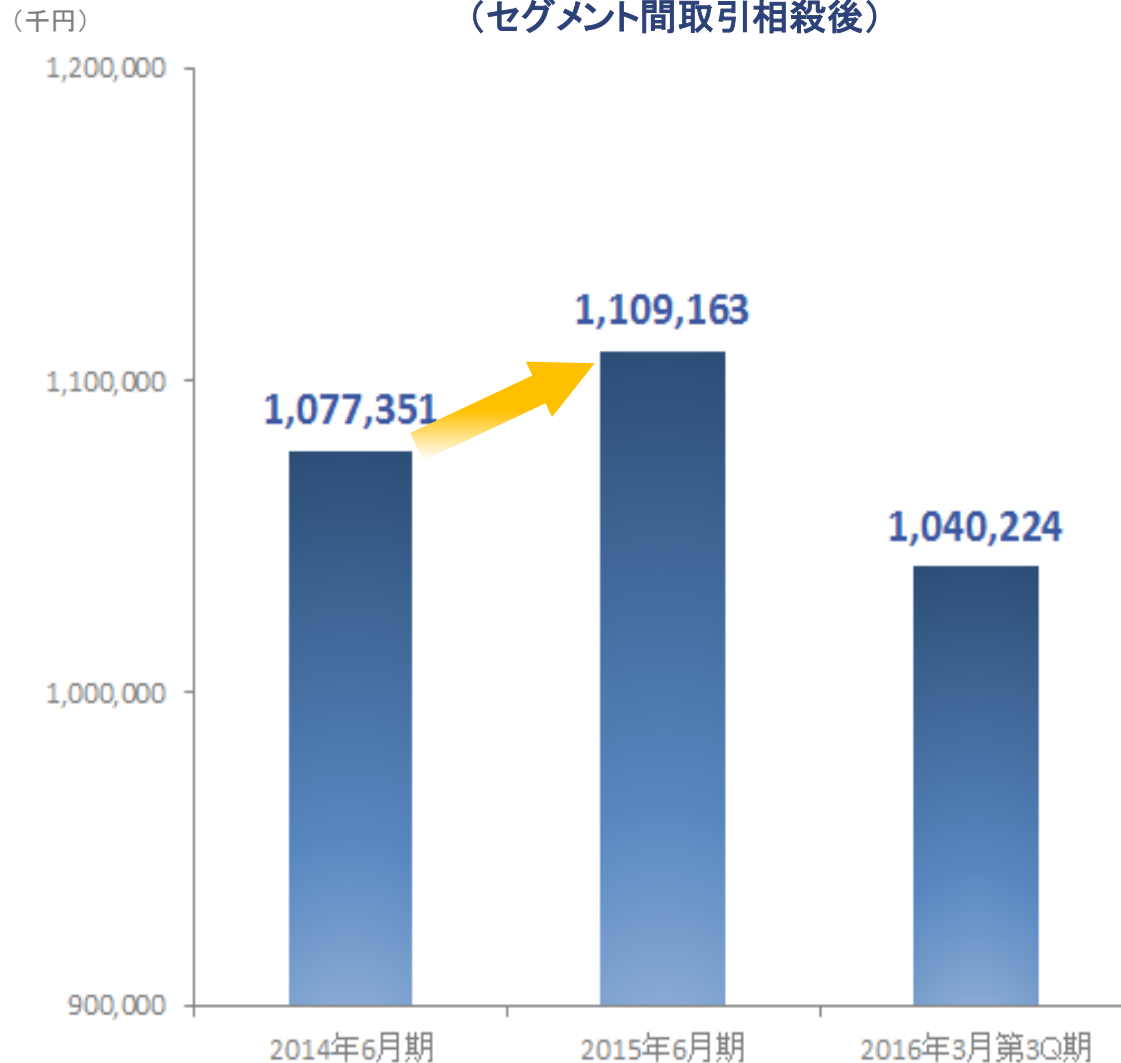
- 中間処理施設
- 東京都内で城南地域に位置しており、都心及び副都心地域をはじめ、近接する神奈川県からの搬入において交通の利便性を有しています。
- また、工業専門地域に設置されており、24時間操業が可能となっており、処理量の面での優位性を有しております。



## リファイン1

- 中間処理施設
- 東京都内で城東地域に位置することから、都心及び副都心地域はもとより、近接する埼玉県からの搬入・搬出において交通の利便性を有しています。



《産業廃棄物処理事業売上高》  
(セグメント間取引相殺後)

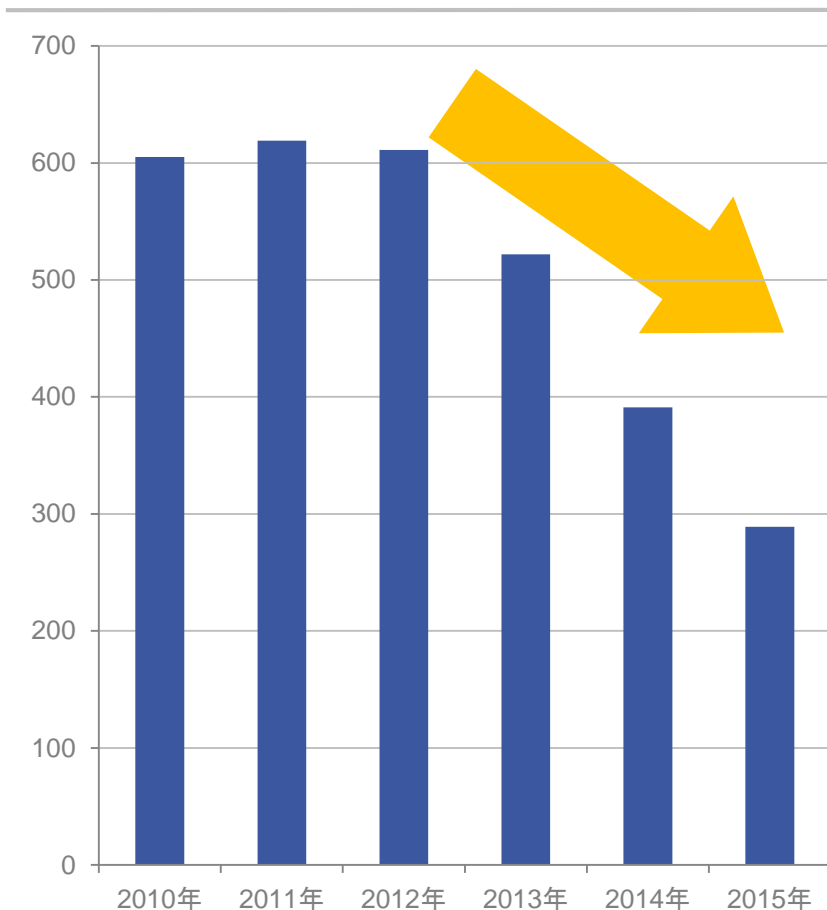
- 産業廃棄物処理事業のセグメント売上高は、2015年6月期については新規顧客の獲得や内装解体工事の受注増加等により増収
- 2016年3月第3四半期累計期間については、内装解体案件の受注拡大を図り、解体により排出される廃棄物の収集運搬、中間処理を一括して請け負うことによるコストメリットを提案し着実に売上げをのばす

1. 会社概要
2. 当社グループ事業について
  - 当社グループ事業の概要
  - 再生樹脂製造販売事業
  - 産業廃棄物処理事業
3. 業界環境
4. 今後の成長戦略

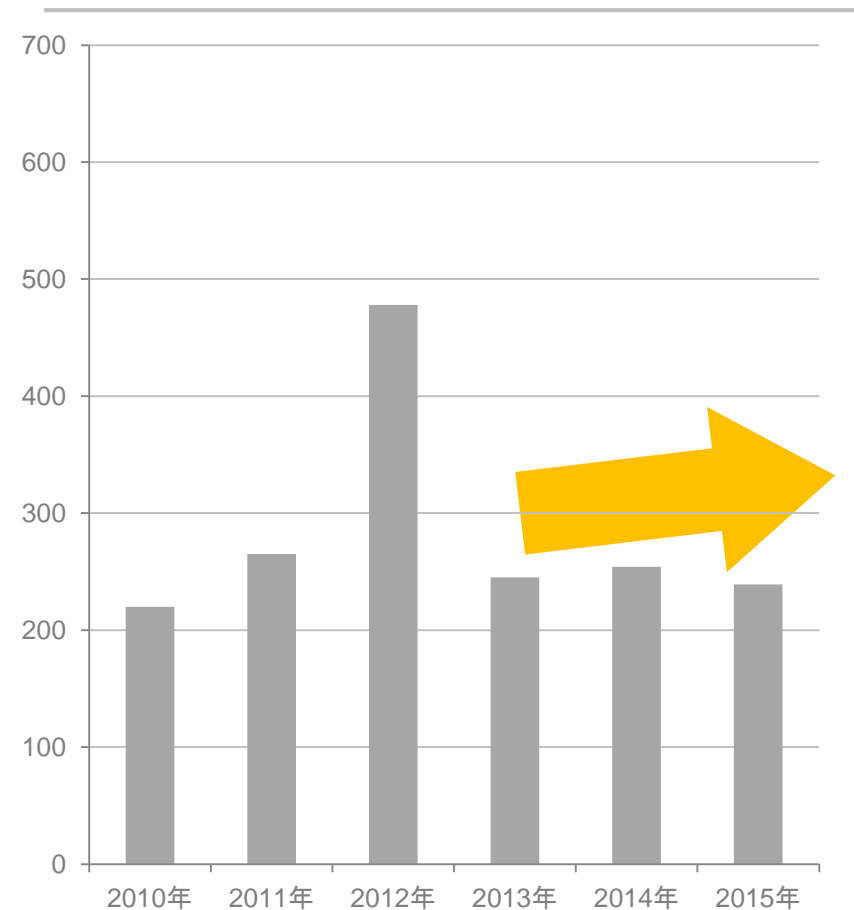


足許のオフィスの需給状況は、供給量は安定推移する一方、空室面積が減少しており当社グループの業績にはプラスに働いているものと考えております。

### オフィス空室面積(年末、千坪)



### オフィス供給量(年間、千坪)



出所: 三鬼商事株式会社公表の東京(都心5区)オフィスビル市況より当社作成

バージン樹脂価格は直近短期的に下落しておりますが、価格優位性は維持しております

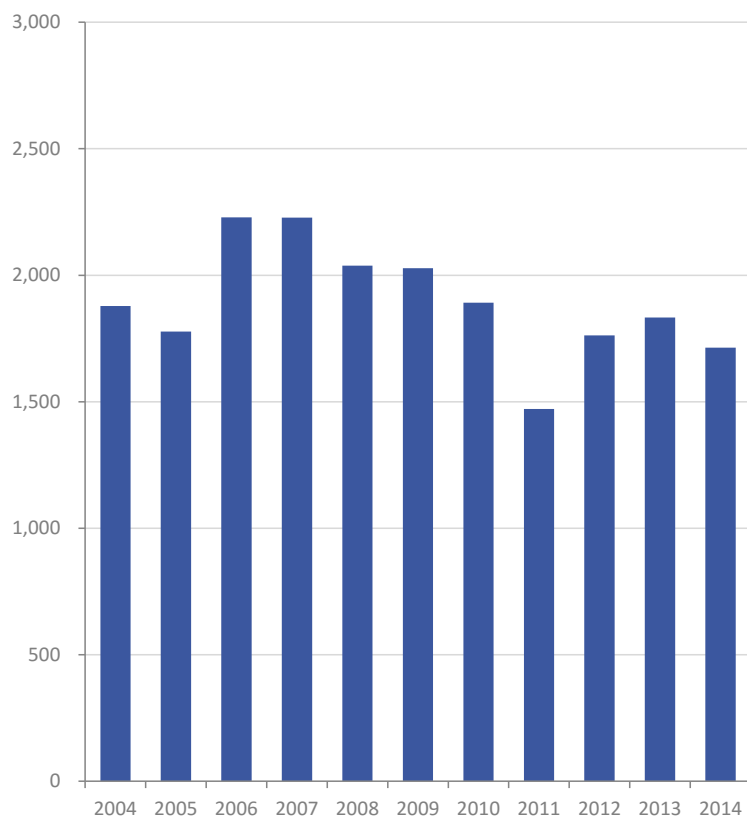
## バージン樹脂価格の推移(円/kg)



出所: 経済産業省生産動態統計(塩化ビニル樹脂)より作成(2011年4月~2016年3月)

首都圏において、最終処分場の容量は逼迫しており、排出量も増加傾向にあります。

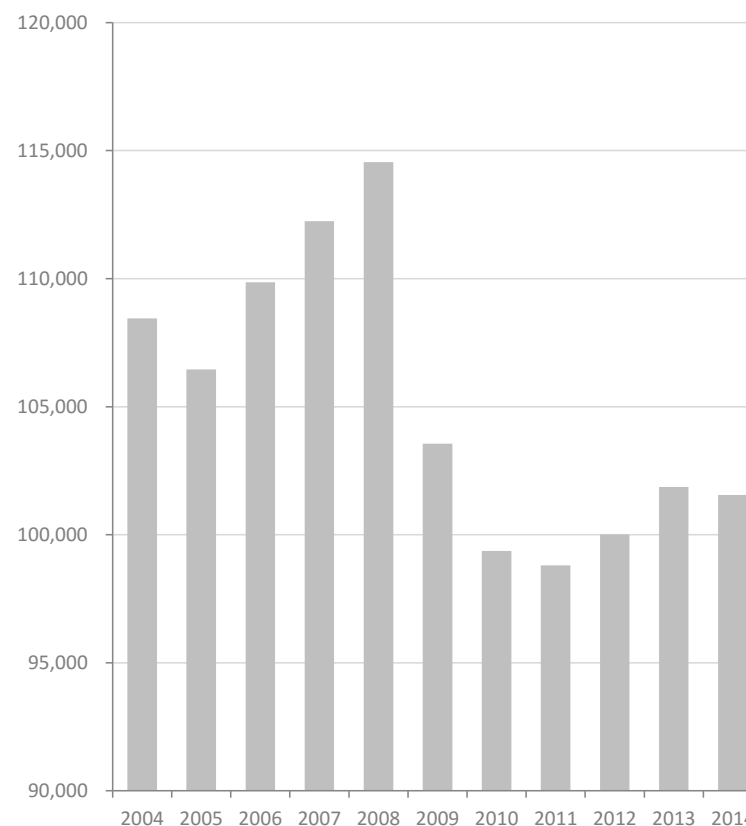
## 首都圏の最終処分場の残存容量(年度末/万 $\text{m}^3$ )



出所: 環境省「産業廃棄物処理施設の設置、産業廃棄物処理業の許認可に関する状況」

首都圏: 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

## 関東地域の産業廃棄物排出量(千t/年)



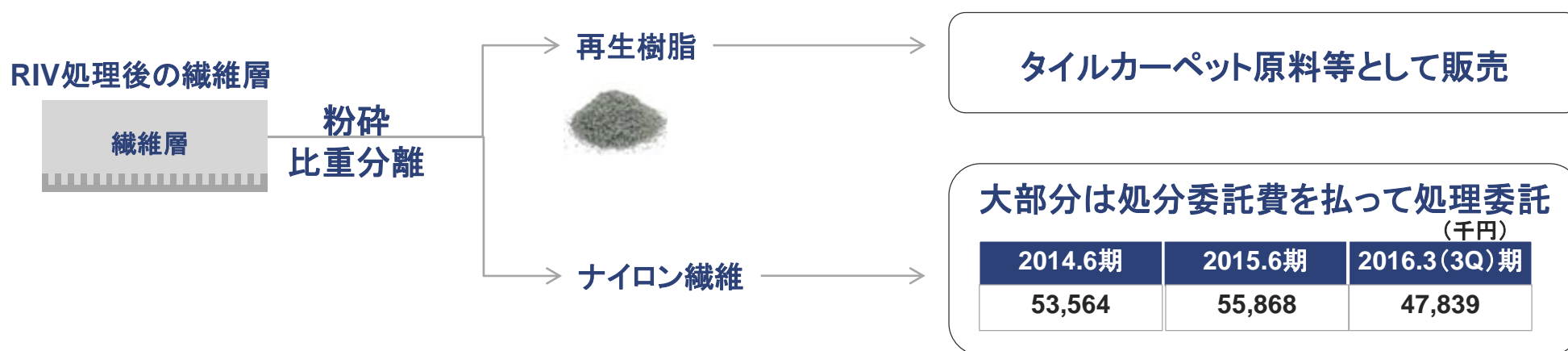
出所: 環境省「産業廃棄物の排出及び処理状況等」

関東地域: 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県

1. 会社概要
2. 当社グループ事業について
  - 当社グループ事業の概要
  - 再生樹脂製造販売事業
  - 産業廃棄物処理事業
3. 業界環境
4. 今後の成長戦略

IVPにて再生樹脂製造後に発生するナイロン繊維についての高純度化及び製品としての販売を計画しております。

## 現状のナイロン繊維の取扱い状況



## 本計画による効果

- ナイロン繊維を再生ナイロン樹脂として再資源化
- ナイロン繊維の処分委託の削減



- 使用済みタイルカーペットのリサイクル率100%に近づけることが可能
- 当社グループの新たな販売製品化
- 処分委託費の削減による収益性向上

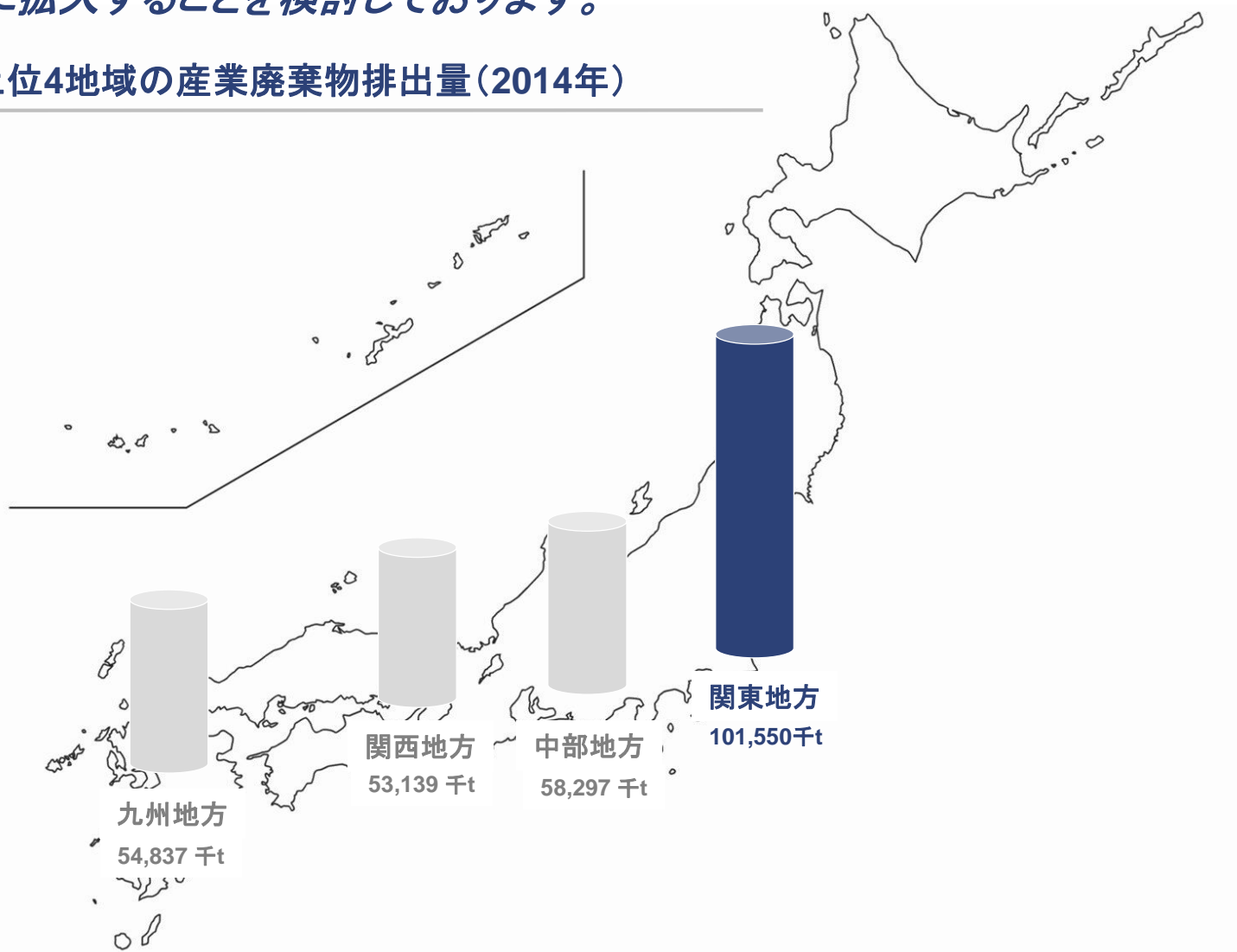
現在、再生ナイロン製造に係る基礎研究段階は終了しており、今後は効率的なプロセス開発及び量産化技術の開発を課題として早期実用化を目指す

## 今後のタイムスケジュール(設備投資計画と稼働開始)

再生ナイロン 生産設備	2017年6月期											
	2016年						2017年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
ナイロン再生設備 (投資額3億円)  再生ナイロン 生産能力 1,200t/年	設備構築						※稼働は翌期以降					
粉碎設備 (投資額2億円)  再生樹脂 生産能力 7,680t/年	設備構築						※稼働は翌期以降					

現状は首都圏を中心とした事業展開となっておりますが、今後回収拠点を首都圏以外の地域に拡大することを検討しております。

排出量上位4地域の産業廃棄物排出量(2014年)



出所: 環境省「産業廃棄物の排出及び処理状況等」

# 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。